

# 第4回 日本GRACE研究会年次大会

## 「GRACEでつなぐケアの輪」

### ～セルフコンパッションからレジリエンスへ～

今回の年次大会は、「GRACEでつなぐケアの輪」～セルフコンパッションからレジリエンスへ～をテーマに、ハリファックス老師の同僚やご縁ある医療者を中心に、GRACEの理論と実際を紹介いたします。ケアギバーの方はケアのあり方を学べるほか、セルフケアにも役立てることができます。ぜひみなさまお誘い合わせのうえご参加ください。

日時

2021年 12月11日(土)・12日(日) (2日間)

Day-1 12月11日(土) 13時～17時30分

Day-2 12月12日(日) 10時～13時

会場

Zoomによるオンラインライブ

※視聴できなかった方は後ほど記録したものの視聴も可能です。

定員・参加費

定員300名 2日間通し:5,000円

11日のみ:3,000円 12日のみ:3,000円



#### ジョアン・ハリファックス老師

Joan Jiko Halifax, Ph.D.

仏教指導者、禅僧、人類学者。

米国ニューメキシコ州サンタフェにあるウパーヤ禅センター創設者・主管。医学人類学で博士号を取得。アメリカ国立科学財団で映像人類学の特別研究員、ハーバード大学で医療民族植物学の名誉研究員、米国議会図書館の特別客員研究員も務めてきた。また、ウパーヤ禅センターによる、刑務所でのボランティア活動、ネパールにおける移動診療の活動をはじめた人物でもある。

#### ● 基調講演 「ケアの倫理を問い直す(仮)」



#### シンダ・ラシュトン教授

(ジョンズ・ホプキンス大学看護倫理学)

Cynda H. Rushton, Ph.D., MSN, RN, FAAN

緩和ケア、道徳的苦悩、ケア従事者の苦悩に関する専門家であり、看護倫理の世界的リーダーの一人。特に道徳的苦悩をレジリエンスへと変容させる倫理実践の提唱者として著名。アメリカ看護協会の道徳的レジリエンスに関する専門的課題委員会の共同議長を務める。

G.R.A.C.E. は、アメリカの禅僧で人類学者のジョアン・ハリファックス老師により開発された、コンパッションを育み人生の困難を乗り越えるためのメソッドです。以下の5つのパートから構成され、それぞれの頭文字をとってG.R.A.C.E.と名付けられています。

#### Gathering attention

注意を集中させる

#### Recalling intention

動機と意図を思い起こす

#### Attunement to self/other

自己と他者の思考・感情・感覚に気づきを向ける

#### Considering what will serve

何が役に立つかを熟慮する

#### Engaging and Ending

行動を起こし、終結させる

#### ● ワークショップ 「問いを立てる力がG.R.A.C.E.を促す」



#### 吉田 典生 よしだ てんせい

マインドフルネス・ベースド・コーチ・キャンプ創設者。

一般社団法人マインドフルリーダーシップインスティテュート共同創設者、理事。ビジネス・ブレイクスルー大学院『チームリーダーシップ・アクションプログラム』講師。米国のRight Question Instituteと提携して、QFTをビジネスセクターに導入。また自社において、老師のもとでGRACEをビジネスリーダー対象に再編集したAWAREを実施。

【主催】日本GRACE研究会 第4回年次大会長:山下公子 副大会長:宮川栄美子 GRACE研究会世話人代表:高宮有介  
参加申し込みはこちら→ <https://grace2021.peatix.com>



## 第4回 日本GRACE研究会年次大会

# 「GRACEでつなぐケアの輪」

～セルフコンパッションからレジリエンスへ～

### 第4回日本GRACE研究会 年次大会長メッセージ

山下 公子 (看護師)



今年でGRACE研究会年次大会が第4回を迎えます。昨年同様オンラインでの大会となりますが、オンラインでの強みを活かした大会を目指していきたいと思えます。対人援助を担う様々な人達が自分自身や相手、周りとの思いやりや慈しみの基で関係を築き上げ輪が広がることで私たちの生活世界は潤い変化していけると思えます。この世界の大きな波に飲み込まれないように、私達は一人ひとりの意図、動機、倫理観に立ち戻り、今、何を問われているのかを、問い直す時に直面しているのではないのでしょうか。第4回は、参加頂く方々と一緒にGRACEの「今、ここに」に気づきを向けられるような大会にしていきたいと思えます。

### 日本GRACE研究会 世話人代表メッセージ

高宮 有介

(昭和大学 医学部医学教育学講座教授)



GRACEは元々、死にゆく人と向き合う医療者が燃え尽きないように創られたプログラムです。長引くコロナ禍において、医療者のみならず、すべてのケアギバーに有用な内容です。皆さんの生活や人生を豊かにする2日間になると確信します。是非、ご参加ください。

## タイムスケジュール

※内容は変更する可能性があります。

### Day-1 12月11日(土) 13:00-17:30

- ジョアン・ハリファックス老師による動画メッセージ
- グラウンディング 藤田 一照(曹洞宗 僧侶)
- 「ケアの倫理を問い直す(仮)」  
シンダ・ラシュトン(ジョンズ・ホプキンス大学看護倫理学 教授)  
栗原 幸江(都立駒込病院緩和ケア科/認定NPO法人マギーズ東京 心理療法士)  
朴 順禮(慶應義塾大学看護医療学部 専任講師) (通訳:木蔵シャフェエ君子)
- 「緩和ケアにおけるGRACE活動報告」  
堀口 朋美(福井赤十字病院緩和ケア科 看護師)
- 「沖縄でのGRACEを取り入れた現任教育の活動報告」  
平仲 唯(豊見城中央病院 臨床心理士)
- 「関西GRACE勉強会活動報告」  
石野 真輔(十条武田リハビリテーション病院リハビリテーション科 医師)  
佐々木 慈瞳(僧侶 公認心理師)

### Day-2 12月12日(日) 10:00-13:00

- グラウンディング 齊藤 素子(福井赤十字病院 外科 非常勤医師)
- ワークショップ「問いを立てる力がG.R.A.C.Eを促す」  
吉田 典生(一般社団法人マインドフルリーダーシップインスティテュート理事)
- 参加者同士の対話と質疑応答

## 会場・定員・参加費

- Zoomによるオンラインライブ(視聴できなかった方は後ほど記録したものの視聴も可能です)  
Zoomの視聴リンクは開催日の2日前より随時ご案内いたします。1日目と2日目のZoomのリンクは異なりますのでご注意ください。
- 定員300名 • 2日間通し:5,000円 11日のみ:3,000円 12日のみ:3,000円  
※キャンセルポリシー:12月2日まではキャンセルを受付いたします(手数料が発生する場合はご負担いただきます)。12月3日以降のキャンセルはできません。ただし、譲渡は可能ですので、その際は譲渡される方の情報をメッセージからご連絡ください。